

## 【 第1回中標津町自治推進会議報告 】

日時：平成27年6月26日（金）19：00～21：00

場所：中標津町総合文化会館 1階 会議室

出席者：17名（中標津町自治推進会議委員11名、ファシリテーター1名、  
アドバイザー1名、事務局4名）

### <会議次第>

※ 開催前に委嘱状交付

1 開会

2 会長挨拶

3 議題

(1) 副会長選出

(2) 平成27年度自治推進会議の内容について

(3) その他

4 副会長挨拶

5 閉会

---

### <会議結果報告>

※ 委嘱状交付

新委員の木村さん、原さん、吉田さんに委嘱状が交付されました。

(推薦団体の組織体制が変わったことにより、自治推進会議委員も交代となったものです。)

[委嘱状交付]



## 1 開会

### 2 会長挨拶：西根会長



[会長挨拶]

※ 挨拶の中で今期の自治推進会議の委員任期が今年度末であるが、推進会議による「まとめ」を行うため来年度までの任期延長について提案がありました。

## 3 議題

### (1) 副会長選出について

⇒ 木村課長より説明

委員の互選で決めることとしているが新委員の方もいるため、委員・アドバイザー・ファシリテーター全員の自己紹介後、委員から栗崎委員が推薦され副会長に選出された。

### (2) 平成27年度自治推進会議の内容について

⇒東田さん進行

・前段で新委員もいることから自治基本条例を作る作業に、まちづくり町民会議委員として関わっていた3委員から説明。

#### ・委員の任期について

規則では任期5年となっているが、発展計画前期計画の終了となる今年度としたので4年となっている。

また条例では内容について見直しの可否は別として、5年を超えない期間で見直しを行うこととなっている。

#### ・自治推進会議のまとめについて

今期の自治推進会議の取りまとめを行わなければならない。

#### ・条例のPRについて

昨年度の最後の会議で今年度に向けた意見で出ていました。



[会議風景]

⇒委員意見

- ・ 町内会や色々な団体における活動が自治基本条例との意味づけが必要ではないか、条例が宙に浮かないように。  
昨年度の会議では一過性で終わらせてほしく無いとの意見があった。
- ・ 今年度の会議が残り2回では無理と思うので、来年度に向けてイベントやPRすることを決めることが出来れば、まとめは来年度出来るのではないかと。
- ・ 自治基本条例は子ども達の将来につなげていきたい。
- ・ 町内会における課題として会員減少等があるが、そのようなことについてのシンポジウム等を実施してはどうか。  
各町内会から代表に出てもらい、それぞれの町内会活動の自慢をしてもらおう等。



[会議風景]

⇒平岡先生から

- ・ 条例施行後5年で中標津はどう変わったのかというような内容のシンポジウムの開催や2部とか3部構成にして1部では町内会のこと、2部ではNPO等のアソシエーションのことについて、3部では両者が参加し中標津の自治推進にどう連携し活動できるか取組みが出来るかのシンポジウムを開催することにより、条例が出来た後の5年を振り返って考えるのはいい機会になるのではないかと。

○上記の結果から、以下のとおり決定されました。

- ・ 委員の任期については、来年度末までの1年間延長することが合意された。
- ・ 今年度の自治推進会議の内容は、来年度開催を目標として自治基本条例施行後5年のシンポジウムについて、話し合いをすすめることとされました。
- ・ 次回の日程については、日程調整を行い8月又は9月に開催することとされました。

(3) その他

4 副会長挨拶

5 閉会

3回

16条の2

団体の

データベース作り

- ① 任期
- ② 前年度の終了時
- ③ 条例の内容
- ④ 4年間のまとめ

※1年のばせる

のばす理由は？

外に出すためには  
認知度低い  
PDCAサイクル

客観的  
まとめ方  
指標  
数字データ

- ・基本は5年サイクル
- ・計画のチェック機能にあわせた4年

別の外部委へ  
きりはなされた

- 1部
- 2部
- 3部

町内会  
アソシエーション型  
全部が  
いっしょに協働する議論  
暮らしていく  
よいまちづくり

・自治とは  
・改めて文章、明文化  
することに意味がある  
進めていくことが  
大事  
会議そのものも自治

どうすれば  
連携が  
とれるか？

どう協働  
できるのか？

人口  
暮らしやすい

自治基本  
条例

中小企業基本条例

- ・数値
- ・わかりやすい
- ・行政の中に意識づけられた

来年に向けた企画を考えるのも OK

予算つけれる？

予算 無

5年で中標津はどう変わったか？  
シンポジウムとか

・会議としての定義や提言

子どもバージョン 子どもにつなげる場

(冊子とか?)

内容の明確化  
条例の内容の明確化

何が課題か？を出す  
ないやつ

- ・我が町内会自まん
- ・かだい

マスタープラン

が根づいて

どうする？  
それでいいの？

- ・所属団体から来るとむずかしい
- ・いろんな活動あるけど 条例との意味づけはきちんと把握する。

条例が  
宙にうかない  
ように

町民参加の町にしていきたい

意味づけてやりたい

たいした  
意味ない？

プラス  
町民  
活動団体  
アソシエーション型

町内会として条例は意識している 町の文化、町民文化

いまはまだ  
課題はいえない  
を見つけ  
解決策も  
具体的に  
解決すること  
16条-3

単位町 全町的

農業  
商業  
経済  
NPO

行政関係もでる  
3本柱の意味・説明  
同じ場で議論しにくい

協働の意味 役割  
ものさしで計る  
いしきしてくれ  
たら高まって  
いく

- ・こう考える
- ・まとめ
- ・総括